

# 辰巳丘だより47

## (保護者の皆様へ)

平成28年12月22日(木) 編集責任者 校長 堀田葉子

- ◇ 芸術の香り高い校風
- ◇ きめ細かい学習・進路指導
- ◇ 国際色豊かな学校行事



## 保護者の皆様、良いお年をお迎えください

日頃から本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、感謝申し上げます。

本日2学期の終業式を行いました。受験を控えている3年生にとっては、これからが勝負の時です。終業式では、3年生に「今は人生で最も力を伸ばす時期だと覚悟を決めてほしい」と檄を飛ばしました。

勉強は、ただ闇雲にすればいいというものではありません。力をつけるには、どのレベルまで力をつけたいかという「目標」と、現在の自分はどのくらいの力なのかという「自覚」と、目標に到達するための「作戦」が必要です。

フィギュアスケートで世界ランキング1位の羽生結弦選手は、12月8日のグランプリファイナルで4連覇を果たしました。しかしながら、フリーの演技でミスが目立ったため、試合後のインタビューで彼は、「悔しい。次の大会まで時間はあまりないが、それまでに上手になりたい」と答えていました。

世界の王者羽生選手の強さがにじみ出た言葉だと思いました。さらに高見を目指す強い意志。そしてそれを実現させる方法もわかっているに違いありません。羽生選手は「自分の目指す演技」と「今の自分の姿」と「足りないところを埋める方法」を常にイメージしているのでしょう。終業式では受験間近の生徒達に、是非とも羽生選手の強さを見習ってほしいと伝えました。

さて、本校では、2学期に推薦入試、AO入試等にチャレンジした生徒達も大健闘しました。国公立大学4名、私立4年制大学25名、短大・専門学校49名など、多くの生徒が合格通知を手にし、校長室へ喜びの報告に来てくれました。就職も順調で、22名が地元企業等から内定をいただき、現在は生活設計講座を受けるなど社会に出るための準備をしています。そしていよいよ一般入試です。生徒一人一人の進路実現に向けて、学校を挙げて取り組んでまいります。

進路選択という試練を経て、3年生は面立ちがすっかり「大人」に変わり、本当にうれしいと思います。これが我々教師のやりがいだとつくづく感じます。保護者の皆様とともに、3年間の生徒達の成長をしっかりと見届けたいと思います。来年もよろしく願いいたします。(校長)



初雪の辰巳丘



真剣に生活設計講座を聞くキャリアコースの生徒



前庭の選定も進み、新年を迎える準備が整いました